

II 世界の都市とその興亡・都市文明の歴史——人間はどのような都市をつくったか

1 3(15) 都市のはじまり—— 原始の都市(都市文明史①)

2004/2/20

- 1 都市の発生—都市革命 (G・チャイルド) 農業革命⇒都市革命⇒産業革命⇒情報革命
 - 1) 都市革命 ①自給自足からの脱皮 (貿易と工業)、②血縁以上の共同体
 - 2) 都市の属性 ①蓄積と余裕 ②専門的職業 (職業の多様化)
③多様性の共存——均一性からの脱皮 ④人工環境
⑤組織する知恵と力 ⑥自然を動かす技術力 ⑦シンボル性
 - 3) 発生原因——定住よりも吸引力——定住と蓄積の増加 ⇒ 生活条件向上
- 2 吸引力の原点①——ネクロポリスから宗教都市
 - * 1) 葬祭の発生 霊の存在 祖霊、地霊、天霊
 - 2) 異質者との交流 死者と生者の交流
 - 3) カミ——超越者の存在——神殿 カミとヒトとの交流、祭司の発生
- 3 吸引力の原点②——市 (イチ) の発生
 - 1) 欲望——ないものねだり——限界を超える人類——創造と破壊
 - 2) 略奪 ⇒ 異物交換、異質交流
 - 3) イチの発生 イチの内部化
 - 4) 臨時的イチ ⇒ 定常的イチ、仲介人 (商人) の発生
 - 5) イチの維持——定住、宿泊・飲食、その他サービス業
- 4 都市の防衛と秩序
 - 1) 集団防衛 城壁、柵、濠、城門 囲い=邑、鄙
 - 2) 自由：秩序——秩序維持の方法——統治機関 (民主、貴族、寡頭、王)
 - 3) 集団意思の統合——祠、宗教施設、祭司、儀式、暴力、法律
 - 4) 富の蓄積と表現 倉庫、シンボル建造物
 - 5) 欲望と都市——都市の支配——蓄積の獲得——支配・征服の拠点
 - 6) 支配装置としての都市——宮殿、城砦、防壁、支配機関、倉庫
- 5 エリコ(BC7000)——
 - 1) 聖書の記事——ヨシュアの攻撃 (BC1500) 城壁の崩壊
 - 2) 重層的・断続的な都市 廃墟の上に建設、5000~6000年
 - 3) 泉の存在 生活の基礎条件
 - 4) 城壁・物見の塔 共同防衛 組織と秩序
 - 5) 祠 精神的共同体
- 6 チャタルヒュック——家の塊都市
 - 1) 屋上通路——私・公の共存、公共施設の意味
 - 2) 多数の祠、宗教的施設
 - 3) 農村共同体 + 黒曜石交易



上) エルビルの街
下) イェリコの遺跡

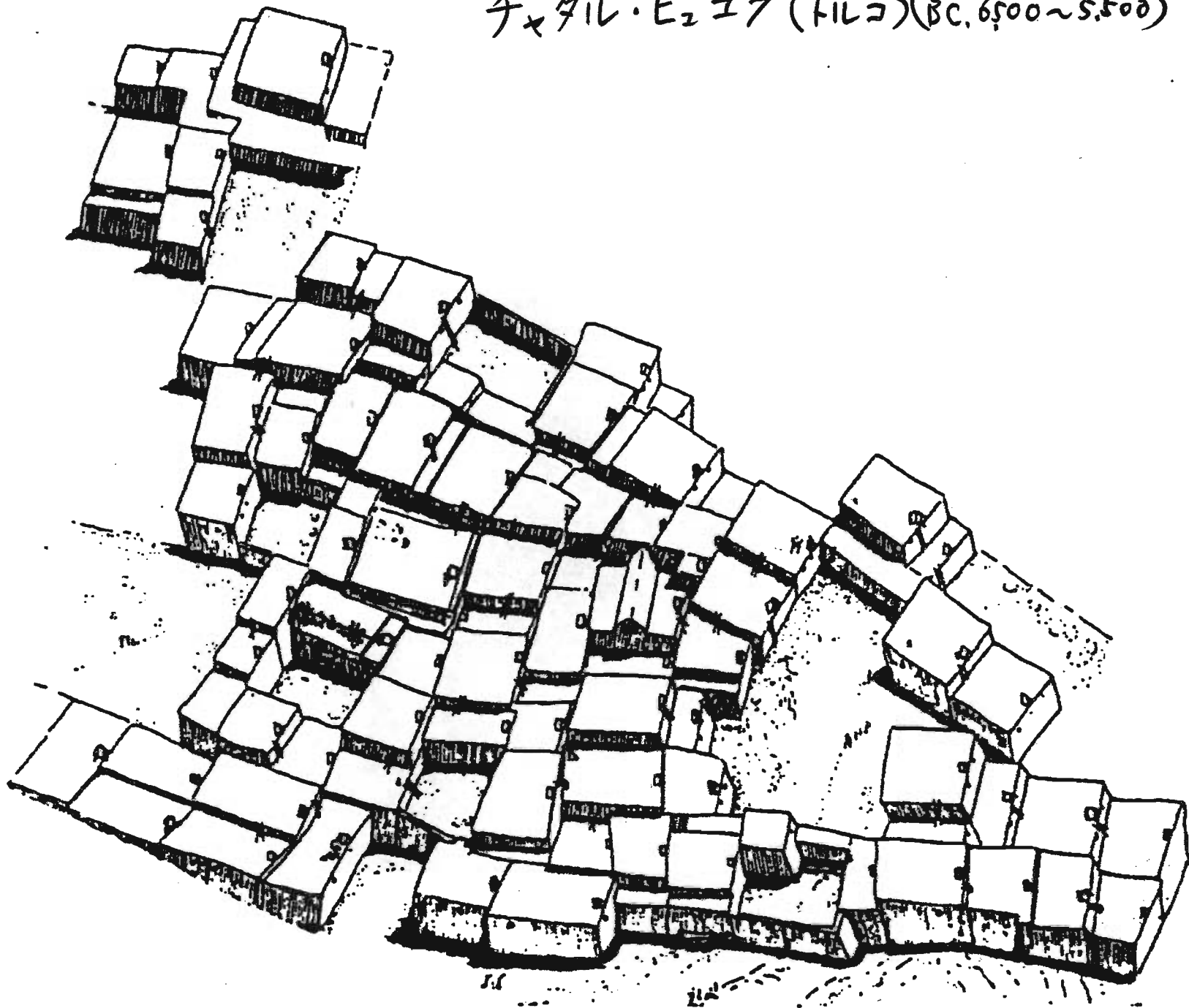
イラクのエルビルの航空写真(上)は、イェリコの遺跡(下)のかつての姿を見せてくれる。大昔のイェリコに由来し、今もなお残っているのはマウンドだけであるが、エルビルも同様のマウンドの上であり、いずれのマウンドも同様に幾層にも重なった集落の廃墟によってできている。ただ、イェリコのマウンドのほうがより古くかつより高い。

②

イリジの壁 (BC8000, BC6000)

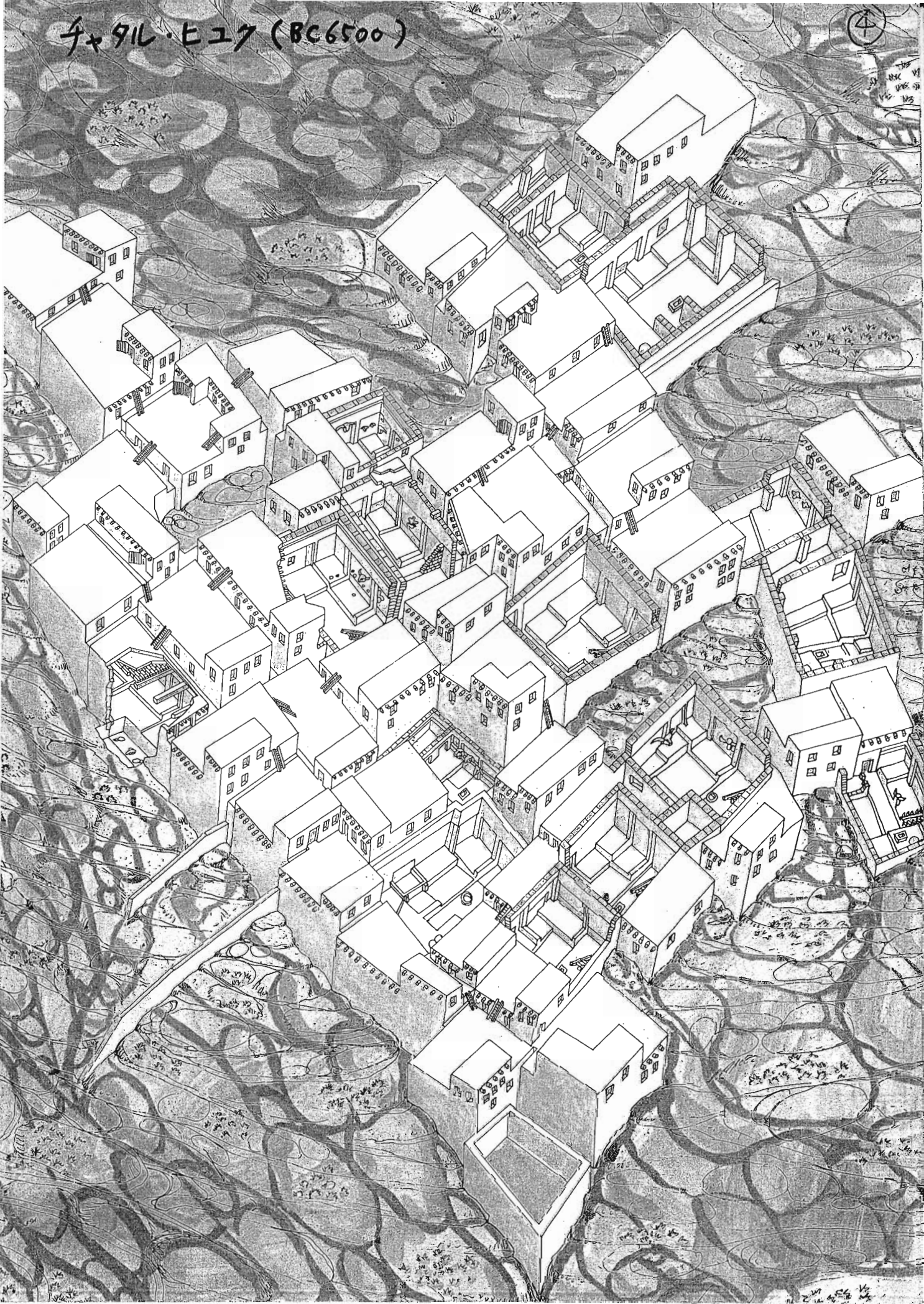


チタイル・ヒコク (ヒルコ) (BC. 6500 ~ 5500)



4x91L. E27 (BC6500)

4





チヤタル・ヒユク